

2011

8

あつま

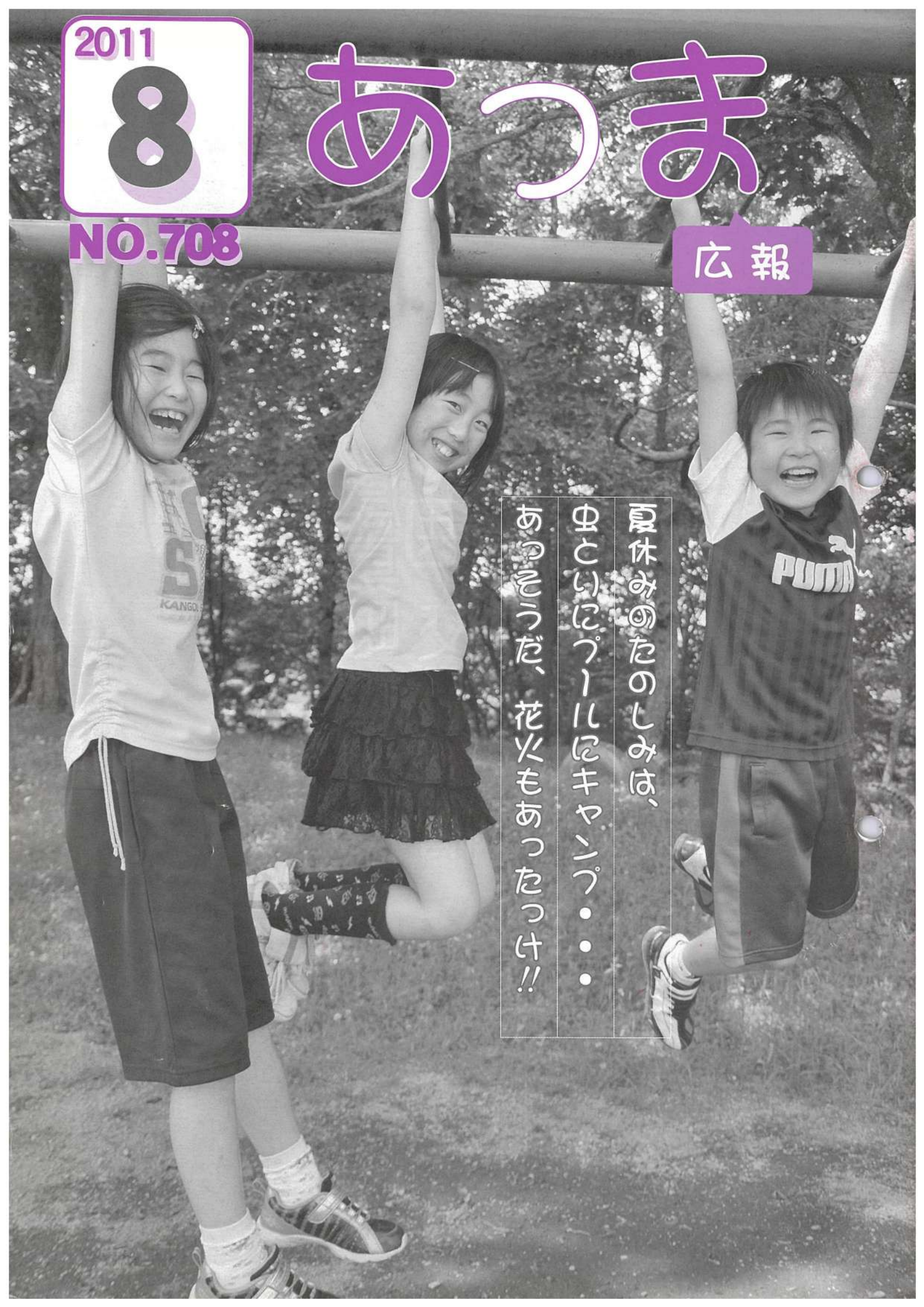
NO.708

広報

夏休みのたのしみは、

虫とくにプールにキャンプ・・・

あつさうだ、花火もあつたっけ!!



特集 “厚真町の公共交通事情”

■ 運行エリア拡大
 予約制によって、ほとんど利用のない路線が判明し、運行の効率化が実現。今年5月16日から新たに浜厚真・厚和・鹿沼地区を加え運行エリアを拡大し、町内全域をカバー。



前日に電話で予約



奥井さんの自宅に到着



「いってきます」ではまた後ほど



無事帰宅 「お疲れさまでした！」

現在の循環福祉バスは？
 ■ 予約制の導入
 昨年10月1日から実証運行の位置付けで、予約制を導入。利用者が事前登録した上、バスを利用したい日の前日午後3時までに、あつまバスの予約センター（027-2311）に電話で申し込む仕組み。これにより、利用者がいない状況で車両が運行することがなくなった。

■ 戸口運行の実現
 戸口運行は、従来の29人乗り車両を15人乗りに小型化。これまで大型車両では、路地まで入れないケースがあったため、各自宅まで乗り降りできる戸口運行は、東日本大震災の影響で車両の納車が遅れ、本格実施が8月1日にずれ込んだ。

とにかく乗ってみなきゃわからない！
 利用者に向けてみなきゃわからない！
 実際に循環福祉バスに乗ってみよう。
 今回は、よく利用しているという奥井静子さん（豊川・77歳）と一緒に7月8日金曜日、循環福祉バスに乗ってみました。



総合ケアセンター ゆくいの機能訓練室で “運動中”



「運動終わりました」 ちょっと待ちます

広報あつま平成22年8月号で、「10月1日(金)から循環福祉バスが予約制になります」という記事を掲載しました。その後、利用者の状況はどうなっているのでしょうか？

循環福祉バスの運行方法。「ちょっと教えて！何が変わったの？」

運賃は、そのまま。



北へ

厚真町の

公共交通事情

南へ



「8月1日から循環福祉バスの車両

を“CHANGE”しました！」



【ブローグ】
 循環福祉バスの予約制開始から10カ月...
 現在の循環福祉バスの運行状況は？
 デマンド後の予約の状況は？
 各自宅まで乗り降りできる戸口運行は？
 アンケート、資料を交えながら、町の公共交通について一緒に考えてみましょう

特集 “厚真町の公共交通事情”



自宅前でバスを待つ利用者

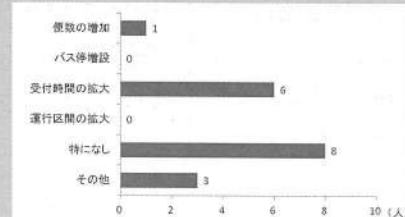
利用者みなさん！ 今のバス、どうですか？

高齢化が進む中、地域の皆さんが病院や買い物などに必要な移動手段を確保することは、より一層大切になってきています。循環福祉バスを利用する方に満足いただけるように、利用者の方の意見や要望を聞いて、少しでも利用しやすい運行方法にしていきたいと思っています。どんなことでもかまいませんので、皆さんの意見をお聞かせください。



役場まちづくり推進課
企画調整グループ 主幹 青木 雅人

循環福祉バスの改善点・要望ですよ！



※予約受付時間の拡大が最も多いですね

バス利用者の推移 (単位:人)

年度	人数
H15	6,634人
H16	6,686人
H17	6,272人
H18	5,991人
H19	4,429人
H20	5,281人
H21	4,915人
H22	4,927人



お問い合わせ 役場まちづくり推進課 企画調整グループ
☎27-3179

○問い合わせ 役場まちづくり推進課 企画調整グループ
今後利用者の方の声を聞き、住民みなさんの知恵を借りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願ひします。

利用者の声

昨年から利用しています！



白木富士子
さん 70歳
(上厚真)

毎週乗っていますよ。予約をすればスムーズに来てくれるので、ありがたいです。昨年からは利用しています。100円で乗れるし、ありがたいです。

ゆくりで運動するために…



佐藤 初子
さん 80歳
(豊川)

「ゆくり」で運動するために、毎週水曜日に乗ります。このバスがあるから自分で通うことができます。バスの中で友だちもできました。

戸口運行になり助かります



高木 信弘
さん 86歳
(上厚真)

足が悪いので、戸口運行になって自宅の玄関前から乗れるようになり、とても助かっています。だから雨の日でも安心です。評判いいですね。

エピソード

厚真町が目指す公共交通とは？

厚真町地域公共交通総合連携計画

厚真町は南北に細長い地形で、市街地が2つ存在するほか、郊外に集落が点在している構造になっているなど、様々な問題があった中で町では都市・交通課題を踏まえ公共交通の見直しを考えています。

そのために「厚真町地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

これは、魅力的で快適な生活環境をつくるためのもの。町民の利便性向上、高齢者などの交通弱者に配慮した交通の確保を地域で主体的に考えていくことを必要とし、主に循環福祉バスの運行方法などを検討していく計画です。この計画で、「住民一人ひとりが本町の意味で住みたいと思えるまちづくり」を目指します。

今後も利用者の声を聞き、住民みなさんの知恵を借りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願ひします。

なるほど便利ですね。では、奥井さんに現在の循環福祉バスについて少し聞いてみましょう。

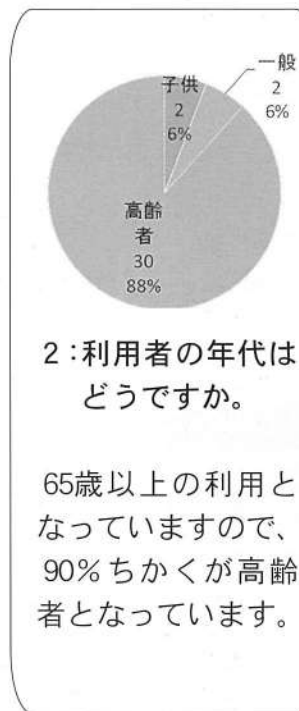
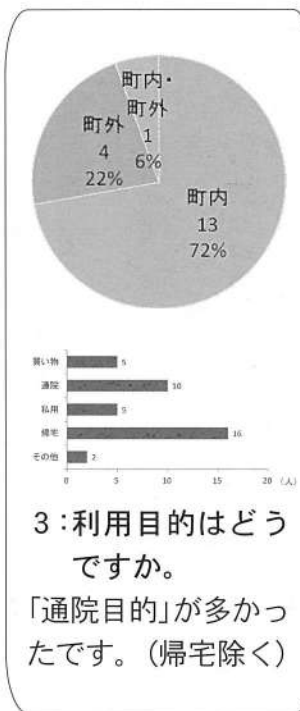
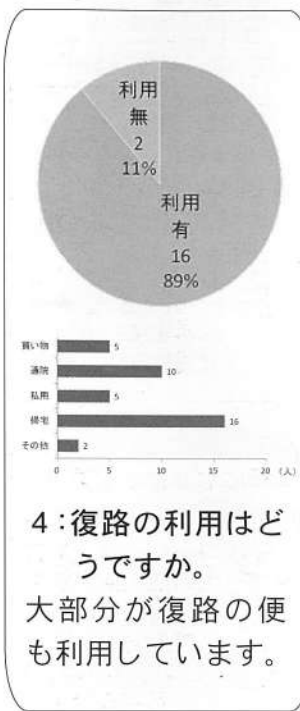
「どのくらい利用されていますか。主人が亡くなる以前は、市街地まで送迎してもらってたんですが、交通手段がなくなった現在は月・水・金と週に3回利用しています。」

「どういう時に使っていますか。月曜日は、主に買い物や通院ですね。水・金曜日は、総合ケアセンターゆくりの機能訓練室に運動に行っています。」

「循環福祉バスに意見要望などはありませんか。」

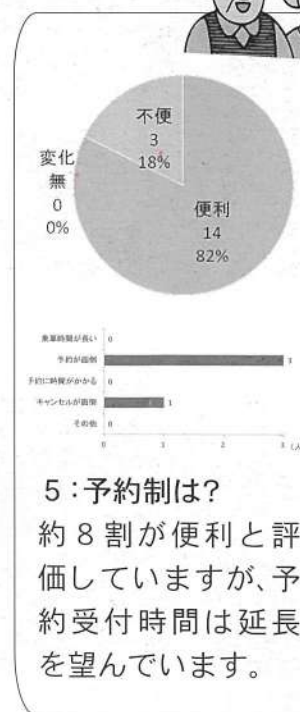
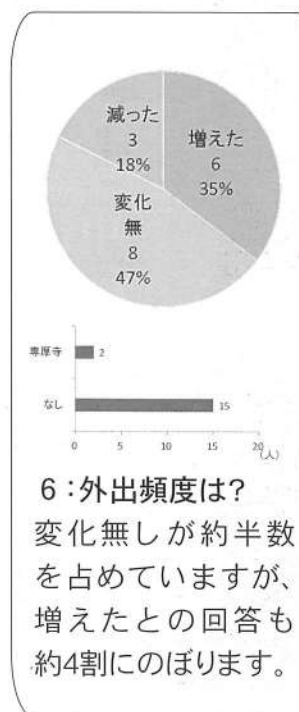
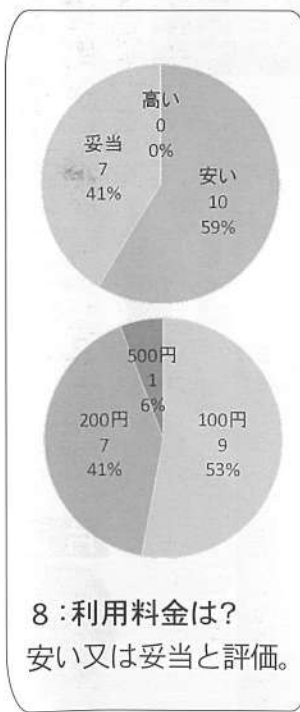
「予約の受付時間が、15時締め切りでは早いと思います。忘れて外に出てたりして、帰宅したら間に合わなくなる。17時くらいにならないでしょうか。忘れないよう、乗車した時に次の予約をすることが多いです。」

「戸口運行になる前は、乗車場所は豊川生活会館でした。歩いて10〜15分かかり大変だった。自分で、自宅前まで乗れる今は便利ですね。後は、できれば毎日乗れるようになってほしいですが、基本的には満足していますよ。奥井さん、ありがとうございました!!」



循環福祉バス突撃アンケート

利用者の意見ってとっても大切ですよ。それなら・・・と、バスに乗車して、利用者突撃アンケートしました。





朝起きて、窓からポーツと庭を眺めるのが大好きだそうです。『サンジャクハーベナ』がお気に入り！



花の種類、管理も素晴らしい。玄関前の寄せ植えがキレイでしたね。



インパチェンスのピンク色が印象的。太陽の下、まばゆく輝いていました。



デザインと配色がステキ。ケイトウの赤が、とってもあざやかでした。



シヨウブの花がすばらしい。1年通して花を楽しめるように、開花時期が違うものを植えています。



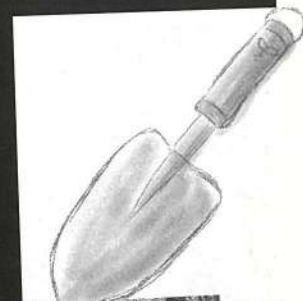
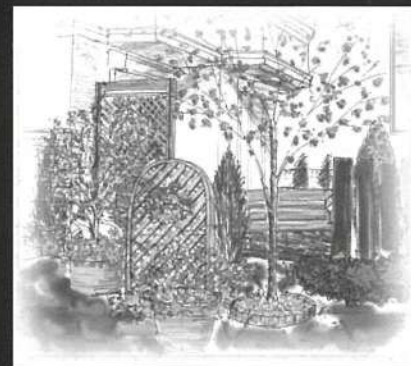
プランターや花樽に植えられた花々。ラティスに引っかけてたものも、オシャレでしたよ。



「お宅訪問」アポなし突撃取材。まちで見かけたすてきな“ガーデン”



「こんにちは！」広報あつまです。ひょっとして、このページを開いている今、まさにお庭いじりの真っ最中かもしれませんが、この特集では開花本番を迎えたあつまのステキなお庭を、白黒ですが(笑)ご紹介したいと思います。大粒の汗を流し、丹精込めて植え育てた花や木。ステキにつくられたお庭をまちで見かけ、その美しさに招かれるように訪問させていただきました。この感動を少しでもみなさんにお届けできるように、心を込めて写真に閉じ込めました。今回は、住所も名前もあえて掲載していません。「あれっ、ここは、どこの誰の家？」と思う人がいるかもしれませんが、みなさんの心の中に残るガーデンと静かに照らし合わせてください。そして、「こんなお庭がこのまちにあるんだ」という発見も中にはあるはず。それぞれの愛情とアイデアいっぱいのお庭をお楽しみください。



一年草と宿根草がうまくミックス。サルビアがカワイイですね。



傾斜を上手に利用しています。ヘコニアの花が大きくて、とても見応えがありました。



農業委員会は市町村に置かれる行政機関

農業委員の皆さんを紹介します

任期満了に伴って行われた農業委員の選挙で当選した13人の委員と、各団体・議会から推薦された5人の委員計18人が新しい農業委員として、町の農業振興に寄与していただきます。農業委員会の役割と農業委員の皆さんを紹介します。

農業委員会ってどのような組織？

農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」によって、各市町村に設置が義務付けられている行政委員会です。

公職選挙法を準用した選挙で選ばれた農業委員と団体推薦により選ばれた農業委員により構成される合議体の行政委員会です。

農業委員会は、市町村の機関であるため市町村長の統括に属し、農業委員会の事務所の設置、所要予算の計上・執行等の事務は市町村長が所掌しています。しかし、農業委員会は、市町村の機関ですが補助機関でなく、独立した行政機関であるため、所掌事務の執行については市町村長の指揮監督を受けることはありません。

農業委員会の業務は、次のとおりです。

- ①農地の権利移動についての許認可など農地法に関係する業務を中心とした農地行政の執行、農地に関する税制などの業務を行なっています。
- ②市町村の基本構想の実現に向けた認定農業者の育成や農地流動化促進の取り組み、調査研究や情報提供などを行なっています。
- ③農業者の公的代表機関として、地区内の農業および農業者に関する全ての事項について意見を公表したり、行政庁（町長）に建議し、または行政庁の諮問に応じて答申する業務を行なっています。

農業委員の要件

●選挙委員の要件

農業委員会の区域内に住所を有する20歳以上の方で、次の条件を満たしていること。

- ①30アール以上（北海道以外は10アール以上）の農地を持ち耕作の業務を営む方
 - ②①の同居の親族または配偶者
 - ③①の面積の農地につき、耕作の業務を営む農業生産法人の組合員、社員、株主
- ※②、③にあたっては、耕作従事日数が年間おおむね60日以上の方

●選任委員の要件

- ①農業協同組合、農業共済組合、土地改良区が推薦した理事など
- ②議会が推薦した学識経験を有する方

選挙委員 13人



梶内・高橋 宥悦



宇隆・高橋 茂



鯉沼・村田 久明



高丘・小谷 和宏



梶里・山田喜代治



美里・小崎 正博



浜厚真・池田シゲ子



豊丘・角田 長久



表町・北島 美保



軽舞・齊藤 政則



豊沢・猪師 広之



鹿沼・長谷川和司



共和・藤澤 富藏

会長 高橋 茂
 職務代理 藤澤 富藏
 農地部会長 猪師 広之
 農政部会長 小谷 和宏
 特別委員長 小崎 正博
 （敬称略）

選任委員 5人



軽舞・齊藤 義幸
農協推薦



富里・荒井 文明
議会推薦



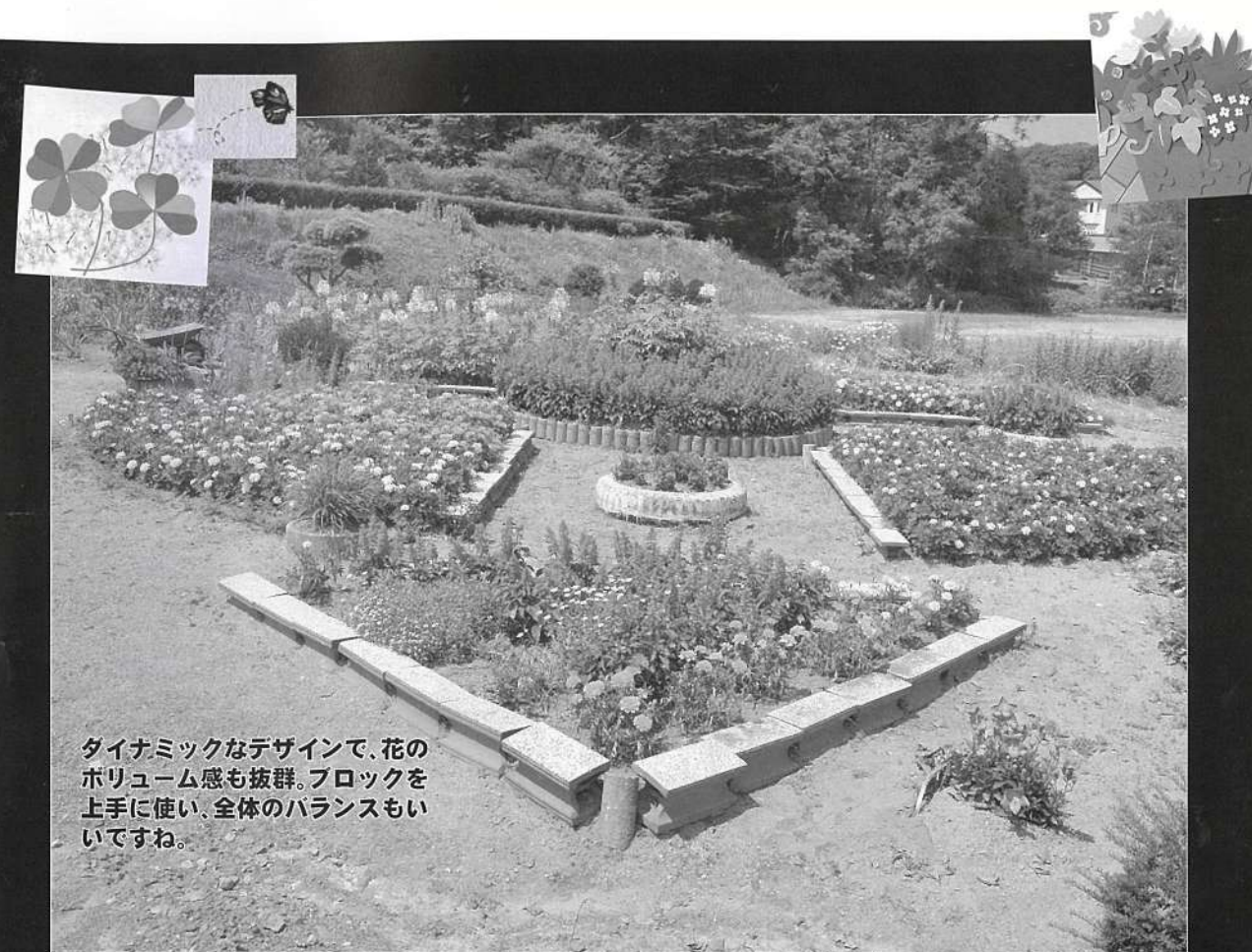
富野・中島 広幸
議会推薦



高丘・日西 善博
共済推薦



表町・櫻井 彰義
改良区推薦



ダイナミックなデザインで、花のボリューム感も抜群。ブロックを上手に使い、全体のバランスもいいですね。

ガーデニング日和

5色の松葉ボタンの配色がカラフルイイ。"シスターガーデン"。毎年姉妹で花植えを楽しんでいます。



すべて種から育てている苗です。植えるとき、曲線にして見る人にインパクトを与えるように工夫しました。

みなさんいかがでしたか？「ごめんなさい」写真が白黒でわかりづらかったかもしれませんね。まばゆいほどの色彩豊かなお庭、おとぎ話のようなかわいらしいお庭、ほんのり温かいお庭・・・実際に見ていて、時がたつのも忘れてしまいました。各家庭それぞれで、個性が「キラリ！」。今回、いきなりの訪問にもかかわらず快く取材に応じてくださったみなさん、本当にありがとうございました。それから付け加えますが厚真町にはこのほかにも、素晴らしいお庭がたくさんあります。すべては掲載できませんでしたが、また機会があれば「広報あつま」は「白黒」ですが、みなさんにご紹介したいと思います！

いんていちは厚高です

学習活動の特色

本校は四月に新しく四〇名の新生を迎え、全校生徒は一一〇名となりました。学校教育目標「よき市民、よき社会人を育てる」のもと、今年度、①「確かな学力の向上」②「個性に合わせた進路実現」③「基本的な生活習慣の確立・自己の個性や能力を伸ばし、集団での社会性や公共心を育む」、④「生徒のコミュニケーション能力を豊かにし、理解力や表現力の向上を図る」を重点目標に据え、教育活動をスタートしました。

学習活動においては、一学年一学級という小規模校であることの利点を最大限生かして一人一人がわかる授業を目指しています。さらに「地域キャンパス校」として「センター校」である苫小牧東高校からの授業支援も四年目を迎えました。この中で次の①〜⑥の取組を行っています。

①三年生の「現代文」の授業でクラスを半分にした二展開の少人数授業の実施。②一・二年生の数学の授業では本校および苫小牧東

高校数学教諭二名で指導するチームティーチングの実施。③各学年の英語の授業において、英語指導助手（ALT）を一〜三名迎え、会話方式で授業展開することで身近の生きた英語に触れる。④教科「家庭科」において一年時、育児学習ならびに保育所訪問、三年時、介護施設グループホームやわらぎ

へ見学・実習の実施、点字・手話の学習など家庭生活に必要な育児と介護の体験的な学習の実施。⑤教科「情報」と「商業」において現代生活に必要なパソコン操作やIT技術の習得。⑥生徒の学力向上を図るために、家庭学習課題を毎日実施し、毎週確認テスト、理解不十分な生徒に個別指導を行い基礎学力の養成を行います。

四月からの厚高

平成二十三年度が始まり、早四カ月が過ぎました。この間の主な行事の取り組みを簡単に紹介します。

★入学式（四月）
今年男子二十六名、女子四名の計四〇名が入学しました。志

願者が定員を超え、狭き門をくぐりぬけた生徒たちです。これから三年間どんなドラマを繰り広げてくれるか楽しみです。



★新入生歓迎会（四月）

緊張気味の一年生を前に、二・三年生による新入生歓迎会が行われました。最初に生徒会企画「学校・行事紹介ビデオ」が上映され、その後二・三年生による学年発表、部活動紹介が行われ、徐々に緊張がほぐれ始めた一年生から大きな笑いが起こるようになりました。これから一年間、一つ屋根の下で学校生活を送るもの同士、規律、けじめの中で楽しく過ごしてほしいものです。



★インターネット教室（四月）

この日は公開授業、PTA総会、六校時保護者が総会実施中、生徒は体育館にてインターネット教室。KDDIより講師を招き、インターネットならびに携帯電話の書き込み等の影響・事例・注意すること等の講演を拝聴しました。現在、社会問題になっており、本校においても他人事ではないため、生徒も真剣に聞き入っていました。総会終了後には保護者向けの講演もいただきました。



★壮行会（五月）
五月中旬から高体連、高野連の支部大会が開かれるのに先立って壮行会が行われました。今回はバドミントン部・硬式野球部が参加するため、キャプテンが抱負を述べ、全校生徒が健闘祈願しました。バドミントンは善戦しましたが、全道に駒を進めることはできませんでしたが、硬式野球部は、北海道大会室蘭支部予選一回戦が行われ、登別大谷と対戦しました。残念ながら敗れましたが胸を張ってもよい試合でした。ぜひ、秋に期待しましょう。



★施設訪問（五月・七月）

家庭科「福祉基礎」の科目を選択した三年生八名の生徒が、高齢者グループホーム「やわらぎ」、デイサービスセンター「ほんごう」を訪問し、体験実習を行いました。目的は「高齢者の心身の特徴を理解する」、「老人福祉施設を知り、地域社会の一員としてどう関わっていくか考える」、「交流を通し、他者への思いやりの心を育てる」

です。仕事の内容は会話交流、苗・花壇作りの手伝いで、生徒にとってもいい経験になりました。



★生徒総会（五月）

今年度、生徒会の活動などを審議し、承認する生徒総会が行われました。保田会長の挨拶で始まり、運営方針、昨年度決算、今年度予算と報告・説明が行われ、活発な議論とはいきませんでした。質疑応答が行われました。その後、全会一致で承認され、今年度の生徒会活動が正式に動き始めました。最大行事の学校祭では、執行部の手腕が発揮されることを期待しています。



★廃品回収（六月）

恒例となりましたPTA・生徒会主催の廃品回収が行われました。PTA・生徒会・有志生徒部活動他、教職員の総勢七〇名が参加し、保護者からトラックを提供を受け厚真町内の廃品回収に汗を流しました。この日のために一年間、分別して廃品を貯めていたくれた方もいて、町内の方にも恒例行事として浸透しつつあると感じます。また、合わせてこうした協力に深く感謝とお礼を申し上げます。収益は、学校祭の補助として使わせていただきます。

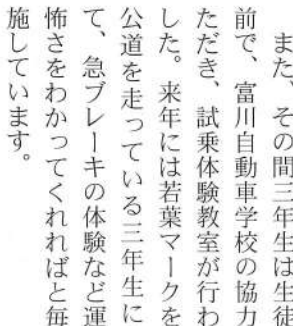


★職場体験学習（六月）
進路選択を間近に控えた三年生が三日間の職場体験学習（インターシップ）を行いました。進路担当の先生、三学年担当の先生にとっては、事前に受入事業所を探し、三年生への事前指導、受け入れ先へのお礼、事業所アンケート回収、発表会指導と忙しい毎日ですが、生徒にはそれなりの自覚が生まれ収穫もありました。これから始まる就職戦線を控え、よい刺激になったと思います。



★交通安全教室（六月）

自転車通学が本格的になり、交通事故が心配になってきました。また、三年生は卒業間近になりますと自動車運転免許を取得する生徒が多くなります。交通安全は日頃の意識啓発が大切と考え、この教室を毎年実施しています。



生徒一・二年生が「交通安全」ののぼりを携え、生徒会が用意したティッシュ（本校生徒が考えた交通安全標語入り）と給を行き交う乗用車の運転手さんに渡し、安全運転をお願いしました。



また、その間三年生は生徒玄関前で、富川自動車学校の協力をいただき、試乗体験教室が行われました。来年には若葉マークを付けて公道を走っている三年生にとって、急ブレーキの体験など運転の怖さをわかってもらえればと毎年実施しています。



七月は学校祭が八〜九日に行われました。この様子につきましては厚高インフォメーションにて報告させていただきます。

★進路講話（五月）
キャリア教育の一環として、こ



★街頭活動・試乗体験（六月）
今回は厚真駐在所長 菅原俊二様の講話をいただき、交通安全啓発DVD鑑賞、生徒代表による交通安全宣言を行いました。



★体験談を聞く会・田舎祭（六月）
本校OB・OGが忙しいなか来校し、就職先・進学先の状況並びに高校時代の進路選択の際のアドバイスを語りました。



本校生徒は先輩の話真剣に聞き入っていました。

7月のまちの話題

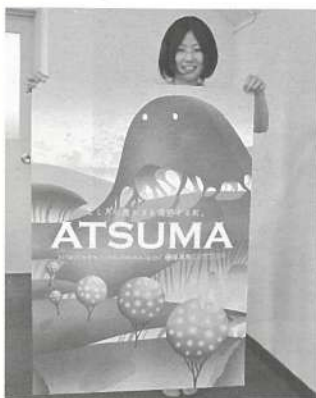


町の施設を見学。議会が行政視察

町議会は7月7日、町内を視察しました。参加議員は10人、太陽光発電施設など11カ所を訪れ、作物の生育状況も確認しました。視察したのは中央小太陽光発電施設や浜厚真屋外拡声器のほか水稲や畑作の現場。宮坂町長も同行のもと、各現場で担当者が概要を説明し、その場で質疑応答して現状を学んでいました。浜厚真海岸に設置された屋外拡声器は、音域に関心が高まり「海にいるサーファーも聞こえるのか」と質問が飛んでいました。

「まちの新たなイメージ」PRポスター完成!

町では町外者の定住促進を目的に、新しい角度からPR活動を展開するため、「厚真町PRポスター」を制作しました。同ポスターは、中央に「ATSUMA」と書かれ、緑ののっぺりとしたキャラクターと斬新に自然を表現しているのが特徴。人気アニメのようなかわいらしい雰囲気が漂っているこのポスターは、フォーラムビレッジのPRにも一役買っています。今後は町の催しや定住促進のイベント等で活用していきます。



「町古民家再生推進協議会」が発足 官民学連携で古民家活用を考える

7月26日、町が古民家活用で新たな魅力を模索する目的で、官民学連携の「厚真町古民家再生推進協議会」が発足しました。古民家は、伝統的な建築手法や貴重な資材が活用されている歴史深い家屋。

町内にはこうした古民家が数多く残っており、所有者の高齢化が進む中で保存はもろろんのこと、新たな地域づくりの視点でグリーンツーリズムや移住施策などでの活用方法も検討していきます。構成委員は10人。会の冒頭、宮坂町長は「町内には北陸地方の建築様式が目立つ。新たに価値を見だし、先人の知恵を生かしていければ」と思いを語りました。同協議会の会長に就任した札幌市立大学の羽深教授は「保存だけではなく、活用方法を考えることが大切」と強調。8月から町内全域の実態調査を進め、年内に計画をまとめる予定です。



軽舞斎藤宅の見事な柱や梁を見上げる



**「心は熱く頭は冷静に」
高齢者がベタンク競技**

町高齢者レクリエーション大会が7月14日、あつまスタードームでベタンク競技を行い、各地域の老人クラブなど28チーム約110人が参加しました。開会式で宮坂町長が「競技に熱中しすぎて熱中症にならないように。水分補給を忘れずに」と呼びかけました。室内専用でもズシリと重さのある球を、3人1組の選手たちは、作戦を練りながら投球し、ボールの行方に歓声がドーム内に響いていました。



**「社会を明るくする運動」
法務大臣メッセージを伝達**

苫小牧地区保護司会（熊谷哲会長）が7月1日役場を訪れ、古川副町長に法務大臣のメッセージを伝達しました。会員など15人が「社会を明るくする運動」と書いたタスキをかけて訪問。熊谷哲会長が「犯罪や非行の無い安全な社会、安心な地域社会の実現は国民の願い」などと書かれた江田五月法務大臣のメッセージを古川副町長に手渡しました。

町長とお茶会ミーティング 女性の意見や要望をまちづくり、地域づくりの参考に。

町内在住女性と宮坂町長が自由討論で語り合う「お茶会ミーティング」が7月21日、昼・夜の二部構成で総合福祉センターを会場に行われました。女性のみを対象にしたお茶会は初のこころみ。

この日お茶会に参加した22人の女性は、チーズケーキやハーブティーを楽しみながら、ざつとばらんに意見や疑問を投げかけました。話題は参加者が日ごろ感じている子育てや学校教育、福祉関係などに集中。それぞれのまちを思う気持ちが言葉ににじみ出ていました。予定時間を越えるほどの盛り上がりを見せ、参加者は「町長と直接話ができるきっかけの機会。有意義な時間を過ごせた。また参加してみたい」と好意的な印象。宮坂町長は「女性ならではの豊かな発想力にあらためて気づくことも多かった。参画意識を高めるためにも聞いただけでなく、この貴重な意見を今後のまちづくりに生かしていきたい」と力づよく手こたえを話していました。



お茶を味わいながら町長と女性たちが意見交換

遺跡に見る厚真の歴史 写真や出土品で紹介

町教育委員会では7月1日～19日までの期間、2010年度に実施した遺跡発掘の成果を紹介しました。

例年この時期に恒例となっている成果展。会場には発掘した土器など約300点を展示し、写真パネルなどでわかりやすく解説。紹介している遺跡はヲチャラセナイ、オニキシベ、東和、豊沢、吉野の5カ所で普段は見られない貴重な出土品が数多くお目見え。乾哲也学芸員は「中でも注目なのは、約5100年前の『シカ塚』です。全国でも初めての発見なんですよ」と目を輝かせていました。



出土品の魅力に引き込まれる来場者



手づくりキーホルダーで 交通安全を呼びかけ

厚真中学校（工藤弘校長）の生徒が7月19日、こぶしの湯あつま下の道道で交通安全の街頭啓発を行いました。

生徒会（尾形紘平会長）が毎年行っているこの啓発活動にあたり、交通事故が減ることを願い、生徒全員で72個のキーホルダーを手づくり。生徒会執行部や野球部、有志約30人が放課後に現地に集合し、菅原厚真駐在所長などの協力で誘導された車のドライバーにキーホルダーとメッセージ入りのティッシュを笑顔で手渡ししながら、「安全運転でよろしくお祈りします」と呼びかけていました。



ボールの行方を目で追う参加者

東日本大震災 復興応援PG大会

町社会福祉協議会主催の「第6回チャリティーパークゴルフ厚真米大会」が7月7日、好天に恵まれた青空の下、町内外から121人が参加し和やかなムードで行われました。赤い羽根共同募金と厚真米をPRしようと、とまこまい広域農協の協賛で今年も夏・秋の開催。

今回は、東日本大震災復興応援と銘打って募金を募りました。参加者はお馴染みの景品「さくら米」を横目に真剣なまなざしでプレー。それでもホールを回る際は談笑する姿があちこちで見られ、チャリティーらしい和やかな雰囲気パークゴルフを楽しんでいました。

浜厚真・苫小牧救難所が合同訓練

浜厚真・苫小牧救難所による夏季合同訓練が7月17日、鵠川漁協厚真支所で行われました。降雨のため、海上での救命浮環による救出や船舶火災の消火などの訓練は中止になりましたが、来賓・関係者が見守る中、所員たちは米川苫小牧海上保安署長や宮坂町長、渡部議長などの視閲を受け、救急救命の実践などを行いました。訓練を見学した宮坂町長は「海はつねに危険と背中合わせ。有事のときは皆さんの力を」と祝辞。澤口伸二浜厚真救難所長が「一朝有事の際は初期の目的達成のため救助活動にまい進します」と力強く答辞を述べていました。



救命活動を実践する浜厚真救難所員



雑誌や新聞類を積み込む生徒たち

厚南中の生徒と保護者が古紙回収

厚南中学校（及川信道校長・53人）の全校生徒、保護者による古紙回収が7月20日に実施されました。長年、生徒会が中心となり部活動の活動資金、学校祭などの生徒会活動の運営費を捻出するために行われてきた取組み。今回は収益の一部を、東北地方太平洋沖地震の被災者支援のために義援金として送ります。参加者は、地域の善意に感謝の気持ちを込めながら作業に汗を流しました。この日は約80人が参加し、上厚真地区など校区内を中心に自転車やトラックで巡回。家や商店の軒先に出されたダンボール、雑誌、新聞類を手際よく積み込んでいました。

上厚真タクーサーフでサーフィン体験

上厚真のサーフィン専門店「タクーサーフ」のサーフィン体験スクールで6月30日、記念すべき100人目の受講生が波乗り挑戦しました。

浜厚真海岸は道内屈指のサーフスポット。2年前から始まったスクールには年間約50人が訪れる人気ぶりで、ISAのサーフィンの指導資格を持つ、同店の村上巧さんが用具の説明や乗り方を丁寧に指導。初めて体験した宮本さん（本郷）は「前からサーフィンをやってみたかった。立てた時はうれしかったです」と笑顔。村上さんは「サーフィン事故防止の為に、自然や気象の知識も学んでほしい」と呼びかけていました。



丁寧にサーフィンの指導をする村上さん



杉井さんの説明に真剣に耳を傾ける参加者

厚真産の粘土を使って陶芸教室

町教育委員会が主催する陶芸教室が、7月19・20日の2日間にわたり創作館「じゅらく舎」で行われました。この日は初心者を中心に6人が参加。豊沢の自宅に窯を持つ杉井紀子さんが講師に訪れ、1kgの厚真産粘土で「オリジナルカップ」を製作。参加者は杉井さんから指導を受けながら、指先に力を込め手びねりで思い思いに造形していました。

杉井さんは「陶芸の楽しさ、奥深さをいろんな人に知ってほしいです。陶芸にのめり込んであっという間の30年。この素晴らしい施設で、一緒に厚真の陶芸文化を築いていきませんか」と笑顔で話していました。

まちの話題 plus

悪路を激走！ 第5回全日本四輪バギー選手権



トッププロが参加した全日本選手権

日本ATV（4輪バギー）協会が主催する全日本ATV選手権が7月17日、浜厚真オフロードパークで行われ、4歳の子どもから国内のトッププロまでが、激しい雨の中で白熱したレースを展開しました。

国内を転戦する選手権の第5戦で、国内・道内から約90台がエントリー。あいにくの雨模様で、コースコンディションが悪いながらも悪路をものもしない華麗なテクニックに、観客は引き寄せられていました。このコースを運営管理するB-styleの木戸和政代表（上厚真）は「年に一度の浜厚真での全国大会。本当は晴れの中、乾いたコースでやりたかった。泥んこになりながらも選手の走りは最高。来場者の気持ちは熱く、会場は例年どおり盛りあがってますよ」と笑顔で話していました。

「アメンボだ〜って月」生きもの観察会

室蘭開発建設部が主催する「田んぼの生きもの観察会」が7月5日、豊沢地区の末端水路で行われ中央小の3年生計28人が水田横の用水路でドジョウやアメンボなどを捕まえました。同建設部は、平成14年から毎年、農業農村整備事業に理解を深めてもらおうと本町の小学校と連携しながら同事業を開始。12日に上厚真小でも3年生を対象に行いました。

中央小では児童28人が長靴を履いて参加。深さ30センチほどの用水路に大きな網を入れて泥ごとすくい、次々と小魚や虫を捕まえました。山口ひなさん（8）は「たくさん捕れてうれしい」と笑顔を見せていました。



たも網の中をのぞく中央小児童



熱心にごみを拾う参加者

サーフィンの名所をきれいに。

サーフィンの名所として知られる浜厚真の海岸で7月12日、浜厚真ビーチクリーンアップが行われました。官民挙げたごみ拾い。町内外から50人以上が参加し、砂浜からごみを一掃しました。今年度は町の主催でサーファー、町内事業所、浜厚真自治会、町職員などが参加。ごみを拾い始める前に、まちづくり推進課岩田参事が「町主催では震災後初のビーチクリーン。参加者心一つにごみを拾いましょう」とあいさつ。

千歳市から来た影山さんは「この海岸でいつもサーフィンを楽しんでいます。きれいになったビーチは気持ちがいいですね」と話していました。

「日頃から最善の準備を」震災振り返る

3月11日に発生した東日本大震災の反省をふまえた意見交換会が7月1日、総合福祉センターで行われました。会議には宮坂町長、厚真消防支署長、厚真消防団長など17人が出席。今回の経験をふまえ、それぞれの立場で考えられる防災の問題点などを確認しました。会の冒頭、宮坂町長が「災害時守るべきはまず命」と呼びかけ、意見交換では災害時における各機関の連携強化、避難所運営のマニュアル化が有事の際に効率的に動ける仕組みと訴える意見が目立ちました。出席者からは「日頃から実践的に備え、町全体で考えることが大事では」と話していました。



防災をテーマに意見交換を行う出席者



土俵の上では真剣勝負!! 女の子だって負けないぞ!
この一番もがっぶり四つの激しい攻防



「苦労したね!」浜厚真海岸第1トンネルの完成だ

このひと振りですべて
をかける。。。
「やったあ当たった!」



浜厚真海岸賑わいの夏

第28回あつま海浜まつり



意外にむずかしい〜
『ピーサン飛ばし』



ホア・アロハによるフラダンスに、たくさん
の拍手が送られました



一撃で仕留めて「ス
イカもらっちゃった!」



お昼に差しかかりランチタイムを向かえた頃、
会場はにぎわいを見せていました。

第28回あつま海浜まつり(同実行委員会主催、鈴木英毅実行委員長)が7月31日、浜厚真海岸を会場に行われました。昨年は、口蹄疫の関係で中止となったため2年ぶりの開催。曇り空にたまに日差しが差す中、娯楽と満腹感とホッキを求めて町内外からたくさんの方が会場を訪れていました。ホッキ貝のつかみどり小学生以下の部に札幌市から参加した中島陸雲くん(6年生)は「おもしろかった! 15個くらい拾えたかな? 晩御飯は、家族で刺身にして食べたいな」とうれしそうに表情を浮かべていました。



行列のできるホッキ貝
つかみどりの受付



ホッキ貝つかみどり小学生以下の部のスタート!
会場は保護者の歓声に包まれ、ホッキ貝を拾い歩く
子どもたちの顔も真剣そのもの



最後はお馴染みの餅まき
「みなさん、一生懸命お餅を拾いましょう!」

まちの話題 plus plus



炊きたてご飯を味見する子どもたち

「アツマで楽しもう!」わくわく探検隊

町教育委員会主催のわくわく探検隊が7月28日、29日に今年の3月末で閉校を迎えた富野小学校を拠点に開かれました。ふるさと厚真の豊かな自然の中、自然体験や共同生活を通して自主性や協調性、忍耐力を身につけてもらう夏休み企画。町内の4~6年生の20人が参加しました。

夏らしい日差しの下、「夕食づくり」では地元産の米、野菜を使ってカレーライスに挑戦。米炊きやカレーづくりなど4係に分かれ、汗だくになりながら作業を進めていました。兼本海音ちゃん(9)は「みんなでカレーを作って食べるのと寝袋で寝るのが楽しみ」と話していました。

今夏もこぶしの湯で「軽トラ市」

こぶしの湯あつま(酒井克人支配人)で、農家のもぎたて野菜を販売する「軽トラ市」が7~10月の土・日曜日に同施設の入口で行われています。

今年で3回目の開催で、周囲の店開きを期待する声と町のグリーンツーリズム推進方針に基づき、さらに同時期に展開している「ハスカップ強調PR週間」に合わせ企画。協力している町内の農家の方が、その日の朝に収穫した新鮮野菜で軽トラの荷台を満載にし、陳列にも工夫しながら販売していました。酒井支配人は「取組みが定着してきた。多くの人に厚真の食材の素晴らしさを知ってほしい。軽トラ市がまちの名物になれば」と抱負を話していました。



こぶしの湯の入口で販売する「軽トラ市」



熱心にのぞき込む来場者

チョウやクワガタ、世界の昆虫3700匹

町青少年センターでは8月18日まで、今年も世界の昆虫展が開かれています。めずらしいチョウやクワガタなど、108ケース・3700匹をズラリ展示。これは昆虫の標本をまちづくりに生かす、町教育委員会の恒例行事。標本は国外78ケース・2700匹、道内18ケース600匹、町内12ケース・400匹を所蔵し、毎年この時期に展示しています。

主な標本は、クワガタの王様とも呼ばれる「オウゴンオニクワガタ」、青色に光り輝く「モルフォチョウ」、ピロード状の鱗毛の「ムシャミヤマカミキリ」など。来場者は昆虫の迫力に魅了されていました。

「自転車シュミレーター」で交通安全

厚南中学校(及川信道校長)の全校生徒による交通安全集会在7月19日、苫小牧ドライビングスクールから講師2人を招き、講話と自転車シュミレーターを用いて体験的な交通安全講習が行われました。

自転車シュミレーターは道内初の導入で、体感的に学ぶため生徒は実際にまたがり模擬訓練を開始。画面上で歩行者が飛び出してきたりすると、周囲で見守っていた生徒たちから「危ない、危ない」と歓声上がる場面も。同スクールの方は「自分の身は自分で守ることが大切。気をゆるめず自転車に乗ってほしい」と生徒に呼びかけていました。



自転車シュミレーターを体験する厚南中生徒

I LOVE

ペット

私の大切な家族



自宅前でことみちゃん、ひかりちゃん、こうすけ

こうすけ ♂ 0歳

(犬・シバ犬)

上厚真 阿部 雄 史さん家族

父、長女、次女の切実な願い。それは「愛犬との生活…」阿部家は昨年マイホームを新築、その切なる思いを果たすべく、その頃から、幾度となく家族会議が開かれてきたという。当初からシバ犬が希望だった。

「3人の強い思いには根負けしましたね。でも『こうすけ』が6月に来てから、散歩のために3人とも早起きになったので良かったのかも」と奥さんのりかさん。

こうすけを命名したのは長女のことみちゃん。次女のひかりちゃんにとってはかわいい弟分。2人に愛されてやまない幸せ者だ。「とにかく彼は活発です。最初は全然吠えなくて、本当に犬なのかな?って思ったんですけどね(笑) 今では私も散歩に出かけます。やっぱりかわいいですね」とこうすけへの“愛”実は3人と一緒。

「いつまでも家族で散歩がしたい」と笑顔を見せた。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループまで (☎27-3179)

本

私の出会った素敵な本

「霧のむこうのふしぎな町」

柏葉 幸子/著

本郷 石井 恵美子さん

「この本は、主人公が夏休みに『霧の谷』の森をぬけて外国のような小さな町で、不思議な力と魅力を秘めた人々と過ごすお話です。初めて読んだのは大学生の時、でももっと小さい頃に出会いたかった…登場人物があったかくてグングン引き込まれるんです」と石井さん。

とっても発想豊かなファンタジーで、作者のあふれる想像力の虜になったという。「夏休みの時期になると思わず読み返したくなるんです。不思議なことが大好き。私もこの町に行ったら…と考えるとドキドキしちゃう。子どもには子どもの、大人には大人の想像力があるので、いくつになってもこの作品は楽しめますよ」と笑顔で話す。

自らの結婚式で、各テーブルの立て札を絵本にしたほど本好きの石井さん。小説から児童文学、エッセーとなんでもこいだ。

「子どもたちにも本をたくさん読んでほしい。私にとって読書は現実から離れ、少し違う世界を旅できる時間ですね」と白い歯を見せた。



厚真人

人

豊沢

竹内

清さん

(60歳)

晴耕雨読の生活を夢見て。



「東京生まれの東京育ち、これまでもずっと東京暮らしだったんです。小さいころは、けっこう生意気なタイプで少し大人びてたかもしれません。通ってた保育園では、『サンタクロースなんていない』と吹聴し、母親もあきれられたほど。なんだか夢のない子どもでした」と照れ笑いを見せる竹内さん。

学ではジャズバンドに挑戦した。「同期にはプロの音楽家になった人間も。多くのプロを輩出するほど名門だったんです。驚きの毎日でした。世の中に、こんなに上手い奴がいるなんて…」

月日は流れ、中学入学後すぐに生涯音楽『音楽』に出会った。「迷わず吹奏楽部に入部したんです。そのころ、テレビで『シャボン玉ホリデー』という音楽バラエティ番組があって、ザ・ピーナッツやクレイジーキャッツに魅せられたのがきっかけですね」と話す。

「実は音楽と同じくらい、読書も好きなんです。せつかく家庭菜園を築しめる環境なので、これからは畑仕事を勉強してのんびりと『晴耕雨読』の生活を送るのが夢です」と笑顔で話す竹内さんだ。

だが運命のイタズラか、皮肉にも進学した高校に吹奏楽部はなかった。「まさかでしたね。あればもちろん入部してました。音楽への思いを断ち切るのには、その簡単に断ることは出来ませんでした」と振り返る。

「晴耕雨読」の生活を送るのが夢です」と笑顔で話す竹内さんだ。

人のうごき

7月1日～7月31日届出分

★誕生おめでとう (4人)

- 豊川 向江 澁太郎くん 7/13
(父一雄 母一紀子)
- 厚和 三浦 菜ちゃん 7/14
(父一久延 母一容子)
- 浜厚真 中村 咲希ちゃん 7/15
(父一孝次 母一美幸)
- 本郷 前田 泰知くん 7/21
(父一貴史 母一喜美恵)

★ごめい福をお祈りします (5人)

- 上野 宮崎 又一さん 78歳 7/8
- 豊沢 荻野 カジさん 85歳 7/15
- 豊沢 藤本 定男さん 81歳 7/25
- 軽舞 前川 正さん 75歳 7/27
- 本郷 森本 昭彦さん 78歳 7/31

マチの善意

- 社会福祉協議会へ寄付
 - ・上野 宮崎 静恵さん
 - ・新町 遠藤 幹男さん

おにぎりだけのミニミニ遠足

日時 9月22日(木)10:00～11:30
 場所 表町公園
 対象 子育て支援センター「ゆうゆう島」利用者
 持ち物 おにぎりのみ親子分・水またはお茶・お手拭き・敷物
 締め切り 9月16日(金) 要予約

(おことわり)
 上記は、窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています。

ホツとひといき

腹に響く轟音とともに、可変ノズルからの噴射が観客の帽子や日傘を吹き飛ばす。あたり一面に広がるケロシンの焼けた匂い。手が届きそうな距離を、チャタン合金のボディがゆつくりと過ぎてゆく。空では、パイロットが9Gの重力と闘いながら上空を旋回している。目前の光景、音、匂い、すべてが心地よく至福のときである。

港祭りもいいけど、やっぱり千歳基地航空祭でしょ。この日のために遠く稚内、根室など全道各地から10万人が訪れるというから驚きだ。私も厚真の立地の良さに感謝しながら30年以上欠かさず訪れているが、町内にも隠れオタク？が大勢いらつしやる。

軍隊だ、兵器だなんてことは置いて、無駄を極限まで省いた「機能美」としての飛行機が好きなの。このことである。一年に一度の楽しみ、帰りは基地から出るのに2時間はかかるが、まったく苦にならない。今年、晴れてくれるだろうか？ それだけが唯一の心配だ。(小)

キッズ9月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

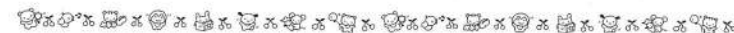


月	火	水	木	金
水曜日の午後 はサークル活 動利用日です。 (要予約)	6日(火曜日)は厚南会館で「あそびの広場」となりますので「ゆうゆう島」はお休みです	1 開放日	2 開放日	
5 開放日	6 休館日 厚南会館で「あそびの広場」	7 子育て講座 『ステップエクササイズ』 要予約	8 乳幼児相談	9 開放日 ※保育園ホール開放
12 「Helloいご！」 開放日	13 開放日	14 あそびの広場 『ピッちゃんのおもちゃ』 ※前日までに予約してね!	15 開放日	16 子育て講座 『応急手当』 要予約
19 休館日	20 開放日	21 びよびよ広場	22 「おにぎりだけのミニミニ遠足」 要予約	23 休館日
26 開放日	27 開放日	28 あそびの広場 『エレベーターボックス』 ※前日までに予約してね!	29 開放日	30 開放日※午後玩具洗いのため休館

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ!
 厚真町ホームページ <http://www.townatsuma.lg.jp/>
 →トップページ→教育・文化→子育て支援センター「ゆうゆう島」

※利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

- ※『あそびの広場』 第3・5水曜日の午前中
1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。
- ※『Hello いご!』 開催日の午前中(メラニー先生が来てくれます)
遊びながら英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しを!
- ※『びよびよ広場』 第4水曜日の午前中
0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。
- ※開放日には、お気軽に遊びに来てください。
- ※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、その他何かお問い合わせなどは ☎27-2438(直通) 子育て支援センターへ!!



みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

みんなの

声

みんなの広場

8/1～8/31

北方領土返還要求運動強調月間

戦後、未解決であった領土問題のうち奄美群島、小笠原諸島、そして沖縄が祖国に復帰しましたが、北方領土すなわち、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の四島の祖国復帰は未だ実現していません。

終戦当時、これら四島には、約17,300人の島民が住んでいました。北方領土問題が未解決のため、生まれ故郷に帰ることもできません。

北方領土は、福岡県とほぼ同じ面積のある美しい自然と豊かな資源に恵まれた島々であり、古来私たちの先人が住み、開拓し、一度も外国の支配を受けたことのない日本固有の領土です。領土問題の解決には何と云っても全国民あげての力強い世論の支持が必要であり、その世論の盛り上がりの中で、外交交渉を推進することが最善の途です。

- 実施期間 8月1日から8月31日まで
- 実施団体 北海道、市町村および関係団体など



『ステップエクササイズ』
 日時 9月7日(水) 10:15～11:00
 場所 京町保育園ホール
 講師 「ゆくり」運動指導員
 持物 タオル・水・運動靴・動きやすい服装
 人数 7名まで
 締切 8月31日(水)まで
 <定員になり次第締め切り>
 ※当日は託児ボランティアがいます

『応急手当』
 日時 9月16日(金)
 10:30～11:15
 場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」
 対象 地域の方ならどなたでも!
 講師 厚真消防署職員
 内容①人形を使って心臓マッサージ
 ②誤飲・やけど等の対応と処置
 締切 9月9日(金)まで(要予約)

お問い合わせ先 ☎27-2438

“キッズルーム” みんなでつくる さきげんなコーナー

HAPPY BIRTHDAY
8月生まれ

ママも、子どもも大満足!
 『笑顔』大歓迎の空間へ集合!
 ママ友同士で気軽に応募して!

笑顔募集中!
 誕生日の記念に、お子さんのステキな笑顔で紙面を飾ってみませんか。締め切りはお誕生月の前月20日ごろ。満4歳から満6歳までのお子さんの写真を募集します。どうぞ気軽にお電話ください。(締切厳守)
 ▶まちづくり推進課 広報担当 ☎27-3179



沼田 咲羽ちゃん 4 H18. 8. 17 (表町)




桐原 駿翔くん 5 H17. 8. 17 (表町)



竹山 柚ちゃん 6 H17. 8. 1 (本郷)

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』をプレゼントします。

問題 さて、ここは町内のどこでしょう?



▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。
 ▶しめ切り(当日消印有効) 8月31日(水)
 ▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120 厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)
 【7月号の答え】 フェリーターミナル
 【7月号の正解者】 応募者は10人で全員正解。抽選の結果当選者には後日賞品を発送します。

クイズ・ここどこ?



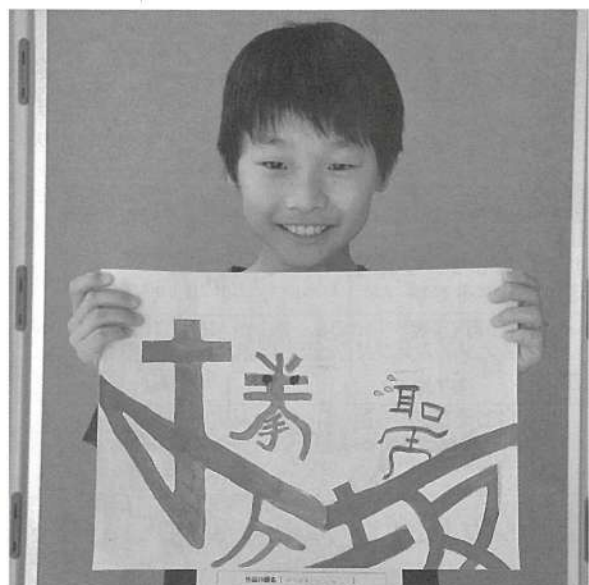
厚高インフォメーション



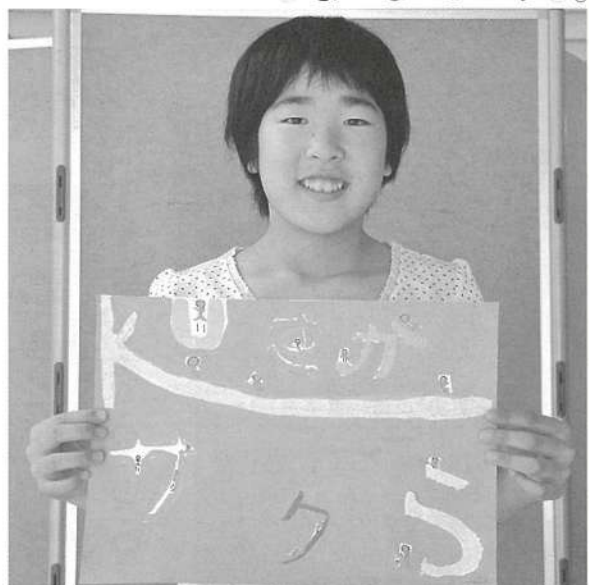
146

学校際！気温も、熱気もヒートアップ

七月、厚真も夏本番を迎えました。厚高では「第三回学校祭」が七月八日(金)・九日(土)の2日間行われました。今年度の学校祭テーマは、東北震災復興を願い、「希望」となりました。準備期間中は夜遅くまで作業に追われ、学校祭を成功させようとする生徒の意気込みが感じられました。保護者の皆さんもPTAバザーで学校祭を盛り上げようと、学校に集まり準備・メニュー等の会議を夜遅くまで行いました。そして、学校祭初日、開会式、学年演劇が行われ、笑い・真面目・一生懸命が感じられる見所満点の初日でした。2日目は学年バザー、PTAバザーが開店、午後からはバンド演奏、その他チャリティー、写真展などが行われ、土曜日ということもあり大盛況でした。この日は天気もよく、気温と生徒の熱気はヒートアップしていきました。一般開放終了後、外で学年対抗運動会、その後あづま成吉思汗を食べ、最後に打ち上げ花火で最高潮となり学校祭の幕を閉じました。※チャリティーの収益金および募金につきましては、関係機関を通じて寄付させていただきます。この場を借りて感謝申し上げます。



上厚真小 5年
折坂 拳聖くん (10)
「自分の名前をアレンジして描きました。『坂』の字の色を上手に塗れたよ。『拳』の字は難しかったな」



上厚真小 5年
日下 さくらさん (11)
「イメージは遊園地です。『K』の字をすべり台にしたのがお気に入り！背景を塗るのが大変でした」

わたしたちの作品

ほくの・わたしの クラスじまん ともだちっていいな



その116 厚真中学校



紹介してくれたのは…
厚真中学校 1年生のみなさん
(書いてくれたのは) 滝本 恋さん

私達1Aは、男子9人、女子8人、計17人のクラスです。他学年から見ると人数の少ないクラスですが、一人一人が自分らしさを表現できる雰囲気の良い、居心地の良いクラスです。入学して4カ月が経とうとしています。1Aでは班ノートという取り組みを行っています。ノートには自分のこと、友達、家族、学校での出来事など、何でも好きな事を書いてまわします。班の人が今、何を考えて感じているのかを知り、クラスや班の仲間づくりに生かし、お互いを良く知ろうという事で、担任の柳本先生が考えてくれたものです。班ノートのおかげで、私の班は忘れ物がなくなってきました。こうした忘れ物がなくなるよ！というアドバイスをしたり、意見を出し合ったりしています。他にも色々質問したり、コメントを加えたり、自分の順番がまわってくるのが楽しみの一つになっています。1Aの学級通信のタイトルは、「まっしぐら」です。これから、学校祭の合唱や演劇などのたくさん行事があります。17人が勉強、部活動、すべての事に前向きにまっしぐらに取り組みむクラスを目指して、一致団結していきなす。

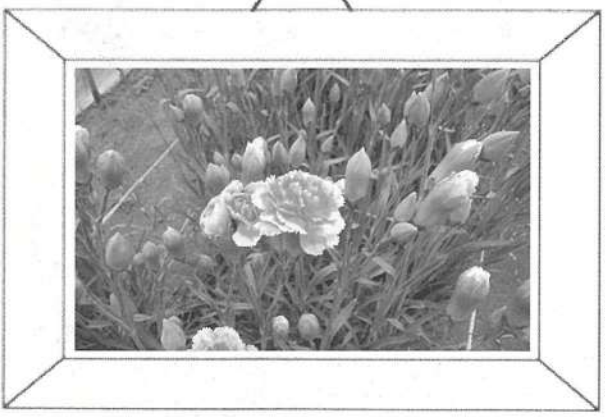
文芸あつま ◆短歌◆

小さな粒丹念にもぎて根気いるハスカップの収穫やつと終りぬ (本郷 清水ツル子)
急勾配の草刈り仕事は手をやきてやぶ蚊と汗で一日送る (新町 中田 八重)
玄関に入れば音のする水槽で元気で泳ぐ川魚かな (本郷 木村 洋子)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十六号』から抜粋)

わたしの知っている あつま

Vol. ⑤ 「お花」 (平成23年7月30日撮影)



8月に入り夏本番を迎えた厚真町、暖かい日が続いていますね。そんな暑い時は、日陰に行くと涼しくて気持ちがいいですよ。緑を見ると涼しい気持ちにもなります。そんな緑が多い厚真町♪知っての通りお米で有名ですが、最近では「花」でも有名になってきているのはご存知でしょうか？花農家では、カーネーション・デルフィニウムなどの花が毎年夏になるとたくさん出荷され、厚真の花が道外でも販売されています。他にも厚真町を綺麗にしようと、たくさんの方が商店街、厚真川河川敷などに毎年たくさんのお花を植えているのはご存知ですか？噂を聞きつけて、町外からも写真を撮りに来る方も数多くいます。最近では、ガーデンングや家庭菜園が流行ってきています。まだ今からでも遅くはありません！是非、今年はお家庭のお庭を花や野菜で綺麗にしてみたいかがでしょうか？もし、わからない事があれば、ご近所さんや厚真のお店で聞いてみてください。前川さとみ(厚真町商工会)

★町民福祉課は総合ケアセンター『ゆくり』内(☎26-7871)に、子育て支援センター「ゆうゆう島」は京町保育園に併設されています(☎27-2438)。

ほけんの掲示板

9月



なかよし広場・乳幼児相談 (厚南会館)

とき・ところ 6日(火)・厚南会館

受付 10:00~10:45

対象 H22.6.7~H23.7.6生まれのお子さんと保護者

持ち物 母子手帳、バスタオル

内容 10:00~11:00 計測、相談、自由遊び
11:00~11:30 なかよし広場 (手遊び、パネルシアターなど)

その他 乳幼児相談となかよし広場を同時に開催します。計測は上記の対象児に行いますが、なかよし広場は就学前のお子さんならどなたでも参加できます。

母親教室

とき 13日(火) 10:00~13:30

ところ 総合ケアセンターゆくり

対象 妊婦さんとパートナー

持ち物 母子手帳、筆記用具、エプロン、手ふきタオル

申し込み 7日(水)までに町民福祉課健康推進グループ(保健師)へご連絡ください。

その他 調理実習をします。動きやすい服装でお越しください。

1歳6カ月児健診

とき 14日(水)

受付 12:30~12:45、13:00~13:15

ところ 総合ケアセンターゆくり

対象 H21.12.2~H22.3.14生まれのお子さん(対象児には個別にお知らせします)

持ち物 母子手帳、アンケート類、歯ブラシ

3歳児健診

とき 7日(水)

受付 12:30~12:45、13:00~13:15

ところ 総合ケアセンターゆくり

対象 H20.5.26~9.7生まれのお子さん(対象児には個別にお知らせします)

持ち物 母子手帳、アンケート類、早朝尿、歯ブラシ

乳幼児相談

とき 8日(木)

ところ 子育て支援センター

受付 10:00~11:00

対象 H22.6.9~H23.7.8生まれのお子さんと保護者

持ち物 母子手帳、バスタオル

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 26日(月)~30日(金) ※29日(木)午後休診です。

ところ あつまクリニック

受付 接種希望当日に町民福祉課で受付を行ってください。

受付時間 9:00~11:30、14:00~16:30です。

対象 ①生後12カ月~24カ月のお子さん
②平成17年4月2日~平成18年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
③中学1年生(平成10年4月2日~平成11年4月1日生まれの方)
④高校3年生(平成5年4月2日~平成6年4月1日生まれの方)

※上記以外の方は保健師にご相談ください。

持ち物 ①②の方…母子手帳、印鑑
③④の方…母子手帳、予診票様式第三、(保護者が同伴できない場合は、予診票様式第四《保護者が署名したもの》)をご持参ください。

三種混合予防接種

とき 20日(火)~22日(木) ※22日(木)午後休診です。

ところ あつまクリニック

受付 接種希望当日に町民福祉課で受付を済ませてください。受付時間は9:00~11:30、14:00~16:30です。

対象 ①1期初回~初めての 경우에는、生後3カ月~12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を越えている場合は、48カ月まででできるだけ終了してください。
②1期追加~1期初回接種(3回)終了後、12カ月~18カ月まででできるだけ終了してください。

※上記以外の方は保健師にご相談ください。

持ち物 母子手帳、印鑑

9月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話番号(0144)
4日(日)	内科系	やまざきこども医院	大成町2-3-1	75-1133
11日(日)	内科系	双葉外科医院	双葉町2-10-17	32-5470
18日(日)	内科系	苫小牧澄川病院	澄川町7-9-18	67-3111
18日(日)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
18日(日)	内科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151
18日(日)	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
19日(月・祝)	内科系	三好内科胃腸科クリニック	豊川町3-6-1	75-7711
23日(金・祝)	外科系	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455
23日(金・祝)	内科系	苫都病院	若草町5-10-21	34-2135
25日(日)	外科系	ともより整形外科	東開町4-21-22	57-8211
25日(日)	内科系	川口小児科医院	しらかば町6-15-27	73-0500
25日(日)	外科系	わだ脳神経外科クリニック	表町2-1-16	37-3711

(診察時間) 9:00~17:00
当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。(お知らせ)
『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。ホームページアドレス
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
フリーダイヤル 0120-20-8699
電話 011-221-8699
携帯電話・PHSからは

苫小牧市夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	(住所) 苫小牧市旭町2-9-2 (電話番号) 0144-35-0001
月曜日~金曜日	19:00~翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
土曜日	14:00~翌朝7:00	
日曜日	9:00~翌朝7:00	

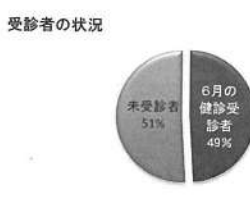
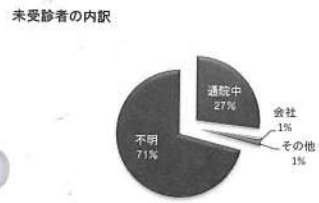
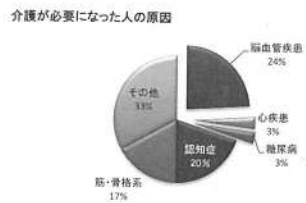
★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
携帯電話用 URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

今月の担当
保健師
ささもり 笹森あゆみ

手遅れになるその前に… 今すぐ「特定健診」を受けましょう!

豊かで便利になった生活で何よりこわいのは、生活習慣病。自分には、まだまだ関係ないと思っていたら大間違い! 10年後20年後も充実した人生を送りたいなら、今、手を打っておくことが大事です。

【なぜ、特定健診が大切なのか】
介護が必要となった人の原因は、約30%が生活習慣病です。早めに身体の状態を認識し、生活を改善していったら防げたはずの方々が、要介護状態になっている現実。もう、ひとことではありませぬ。生活習慣病は、気づかないうちに進行します。特定健診は、これらの病気の進行を早期に発見する最良の機会です。重症に陥らないよう、早い段階で改善することが極めて有効です。



【厚真町の特定健診受診状況(6月未現在)】
今年度の特定健診対象者1246人のうち、6月の集団健診を受診された方は、49%にあたる614人でした。
残り632人が未受診となっておりますが、このうち、既に生活習慣病等の理由で治療中であったり、会社等で健診を受診されたため、受診を希望されなかった方が全体の29%。未受診者の71%の方の理由は不明となっております。



【個別健診実施について】
町では現在、個別健診を実施していません。
今年度の健診はこの機会が最後となりますので、まだ受診されていない方は、今すぐ健診を受診しましょう!

Check!



- こんな方は健診を受けて健康状態を確認しましょう!
- 早食いでお腹いっぱい食べる
- お酒を毎晩のように飲む
- ビールなら中瓶1本程度、日本酒なら1合以上
- 揚げ物や炒め物など脂っこい物をよく食べる
- 食べることがストレス解消である
- 野菜やきのこ、海藻類はあまり食べない
- 階段よりエレベーターやエスカレーターを利用する
- 魚より肉をよく食べる
- 定期的に運動する習慣がない
- ジュースや砂糖入りの飲み物を良く飲む
- 移動には車を使うことが多い
- 朝食を抜いたり夕食をしたりする
- ストレスをためやすい
- おやつや夜食など間食をよくする
- たばこを吸う
- 寝る2~3時間前に夕食をよくとる

児童相談所巡回相談

とき 9月15日(木曜日)
※時間については人数が確定次第決定し、お知らせします。
ところ 総合ケアセンターゆくり
悩み・相談がある方なら、どなたでも相談できます。
申し込み 9月5日(月曜日)までに町民福祉課福祉グループへご連絡下さい。
その他 スタッフ室児童相談所・児童福祉司ほか ※秘密は厳守いたします。

厚真町戦没者追悼式を行います

町では、「厚真町戦没者追悼式」を次の日程で開催します。

町民の皆さんにご参列いただき、先の大戦で亡くなられた方々に哀悼の意を賜りますようご案内いたします。

■日時 8月30日(火) 午前11時

■場所 総合福祉センター

■問い合わせ先

役場町民福祉課福祉グループ (☎26-7872)

届出

児童扶養手当等の現況などの提出を

毎年8月は、児童扶養手当(父子世帯・母子世帯など)や特別児童扶養手当(障がい児世帯対象)を受けている方に、現況届または所得状況届を提出していただく時期です。

この届けは、受給者世帯の所得や児童の養育状態を確認し審査するためのものです。届出用紙は、役場町民福祉課子育て支援グループにあります。

■提出期限

・児童扶養手当 8月31日(水)まで

・特別児童扶養手当 9月9日(金)まで

※期限までに提出のない場合は手当の支払いが差し止められることがありますので、ご注意ください。

■提出に必要なもの

- ①印鑑 ②手当証書 ③世帯全員の住民票(児童扶養手当のみ)

④今年1月2日以降に厚真町に入された方は、前住地の市町村長が発行する前年の所得証明書

■提出先・問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グループ(総合ケアセンター「ゆくり」内 ☎26-7872 内線109)

催し

胆振動物愛護フェスティバルにご来場を

胆振獣医師会では、人と動物の絆をテーマに次により「第5回胆振動物愛護フェスティバル」(共催/胆振総合振興局など)を行います。

入場は無料ですので、お気軽にご来場ください。

■日時 9月4日(日) 午前10時~午後3時

■場所 ノーザンホースパーク

■内容

犬猫の新しい飼い主さんさがし、馬・牛などのふれあい体験、蹄鉄のプレゼント、その他アトラクションなど

■問い合わせ先 胆振獣医師会 (☎0144-3310306)

調査

社会生活基本調査にご協力ください

総務省において、社会生活の実態を明らかにし、わたしたちが「より良い暮らしと社会」を得るために社会生活基本調査を行います。

無作為に選ばれた地域にお住まいの世帯について、日々の仕事や学業、家事などに費やす時間や、過去1年間の自由時間に行った活動について調査します。

9月から調査員がお伺いします。調査票へのご理解をお願いします。

■調査期日 9月1日

■問い合わせ先

役場まちづくり推進課企画調整グループ (☎27-3179)

試験

北海道警察官採用試験を実施します

北海道警察では、第2回警察官採用試験を実施します。

■願書配布

・交番、駐在所、警察署で配付しています。

■受付期間

・8月3日~8月24日まで

■電子申請

・8月3日~8月19日まで

■試験日

・9月18日(日曜日)

道内各試験会場実施

■受験資格

①年齢

昭和54年4月2日~平成6年4月1日までに生まれたもの

②試験区分

・A区分(大学(短大を除く)等を卒業又は平成24年3月卒業見込みの者)

・B区分(A区分以外の者)

■問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

■お問い合わせ先

苦小牧警察署

(☎0144-3510110)

採用案内専用フリーダイヤル (☎0120-860-314)

アコンの6品目は、大きさは関係なしに回収できません。

■使用済食用油のリサイクル

回収できるものは、菜種油、オリーブ油、紅花油、ひまわり油、ごま油、落花生湯、大豆油、コーン油の8種類。

■回収場所

・役場職員駐車場前倉庫(リサイクルセンター)

・厚南会館前駐車場内倉庫

■問い合わせ先

役場町民福祉課町民生活グループ (☎26-7871)

9月11日は「警察相談の日」 一般加入電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。 また、苦小牧警察署のホームページでは、警察以外の専門相談窓口も掲載していますので、ホームページ内の「警察相談」のコーナーをご覧ください。

相談は安心ダイヤル #9110 警察では、身の回りでの不安な出来事など、生活の安全に関する幅広い相談に応じています。 ◆緊急の事件事故の通報は...「110番」へ ◆緊急の事件・事故以外の相談は...「#9110」へ それぞれお掛けください。

苦小牧警察署ホームページ

http://www.tomakomai-syoplice.pref.hokkaido.lg.jp/index.html

苦小牧警察署

☎0144-35-0110

保護

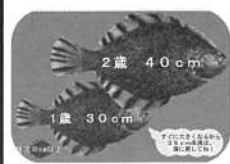
35cm未満のマツカワは海中に還元を

現在、カレイの一種であるマツカワ(別名タンタカ、タカノハ)の天然魚は少なく、ほとんどは人が育てて海へ放流した魚です。

海に放流されたマツカワは、2歳の冬には約40cmと数年で大きく成長します。 函館市恵山岬からえりも町までの渡島、胆振、日高管内の太平洋沿岸では、このマツカワの稚魚の放流を行っています。この海域では資源保護のため、海区漁業調整委員会指示により、全長35cm未満のマツカワは、漁業者も釣り人も海中に還元しなければなりませんので、皆さんもこの内容を守りましょう。

■問い合わせ先

胆振海区漁業調整委員会事務局 (☎0143-2419812)



人事

町職員の人事異動(7/1付け)

■新規採用 町民福祉課子育て支援グループ主任 大岸 葉子

特定疾患医療受給者証などの更新手続きについて

特定疾患医療受給者証の更新手続きについて

特定疾患医療受給者証を10月1日以降も引き続き使用するには、更新手続きが必要です。 必要書類をそろえ、保健所にお持ちくださるか、郵送してください。

■必要書類

- ①有効期間更新申請書兼臨床調査個人票(医師の記載から3カ月以内のもの) ②世帯全員の住民票(発行日から3カ月以内のもの) ③健康保険証の写し ④世帯調書(国保の方のみ。用紙は保健所にあります) ⑤生計中心者の所得税額を確認することができる書類 ⑥医療保険の所得区分を認定するために必要な所得書類(健康保険証が国民健康保険、後期広域連合の場合は必要ありません) ⑦同意書2種類(臨床調査個人票を研究のために利用すること及び医療保険上の所得区分を確認することの同意書)

ウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療受給者証およびウイルス性肝炎進行防止対策(肝炎治療特別促進事業)医療受給者証の更新手続きについて

ウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療受給者証およびウイルス性肝炎進行防止対策(肝炎治療特別促進事業)医療受給者証を10月1日以降も引き続き使用するには、更新手続きが必要です。対象となる方は、下記へお問い合わせください。

■受付期限 9月30日(金) (土曜・日曜・祝日は休みです) ■提出・問い合わせ先 苦小牧保健所健康推進課保健予防係 ☎053-0021 苦小牧市若草町2丁目2-2 (☎0144-34-4168)



※タイヤロックにより差し押さえられた車両のイメージ ※タイヤロック本体の写真

町税等の滞納者に対する滞納処分を行います!

納税等は、納税者自身が自主的に期限内に納税をする「自主納税」が最も望ましく、厚真町は「自主納税」の推進に努めています。定められた期限内に、税金等を納めないことを「滞納」といいます。町税等の滞納は、電話、手紙、訪問等による督促や調査、差し押さえ等の滞納整理に多額の費用がかかり、町民の皆さん全体の不利益になります。

この費用も貴重な町税から支出されることとなりますので、期限内に納税くださいますようお願いいたします。 滞納町税について法律では、「督促状を発した日から起算して10日を経過した日までに完納しないときは、財産を差し押さえなければならない」と定めています。

町では、町税等の納付が困難な方に対し納付相談を実施していますので、お早めに役場総務課税務グループまたは上厚真支所へご相談いただき、滞納処分になる前に無理のない町税納付計画を立てていただくようお願いいたします。

納付相談に来ないなど特別な理由が無く、町税等を滞納している場合には、納税秩序の確保と税の公平性を保つためにやむを得ず滞納者の銀行預金、給与、車等を差し押さえる滞納処分を行います。

野焼きは犯罪になります!

平成13年4月から、基準に従わない野外での廃棄物の焼却には厳しい罰則が適用されています。 野火焼却は、煙、すす、悪臭により周囲の人に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質発生の原因となります。

★野焼きの罰則★

- 1. 5年以下の懲役 2. 1,000万円以下の罰金 3. (1,2)の両方

燃やす量に関わらず、罰則の対象になります。 ゴミは適正に分別して、指定の方法により出しましょう!!



9月の運転免許証更新講習の日程

苦小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新講習(優良)の日程をお知らせします。 ◆午前10時30分: 1日(木)、5日(月)、8日(木)、9日(金)、開講 13日(火)、15日(木)、20日(火)、21日(水)、26日(月)、28日(水)、30日(金) ◆午後1時30分開講: 2日(金)、22日(木) ◆午後3時30分開講: 14日(水)、29日(木) ※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。 ※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。 ■問い合わせ先 (社)苦小牧地区交通安全協会 (☎0144-33-1458)

ここな
大捕 瑚々奈ちゃん
H 20・5・6 生
父一政 寿さん
母一ちはるさん
(軽 舞)



●—わが家のアイドルはこんな子です。—●
「お兄ちゃん大好きっ子です。いつもベツタリでたまにケンカもするけど、すぐ仲直りするんですよ。アニメの『ワンピース』が大好き。寝てる時、大好きなお兄ちゃんと寝像が同じなんですよ！」



もえは
田中 萌葉ちゃん
H 20・5・13 生
父一康 博さん
母一亜 紀さん
(表 町)



まちのアイドル 340

●—わが家のアイドルはこんな子です。—●
「はずかしがり屋ですね。最近は紙を切って動物を作ったりパズルで遊んでいます。好きな食べ物はイチゴケーキ。『またそういうこと言う〜』と大人の口ぶりをマネるおちゃめな一面もあります」

■今月の表紙

「『夏休みの楽しみは?』おばあちゃん家に泊まりに行くこと!家族でキャンプに出かけること!友達と花火をすること!などなど盛りだくさん。おもいっきり楽しんで、忘れられないひと夏の思い出を作ってくださいね」

■今月の内容

- 特集「厚真町の公共交通事情」 : みんなの広場
- まちで見かけたすてきな : まなびや
- ガーデン・新農業委員の紹介 : 健康情報・ほけんの掲示板
- こんにちは厚高です : 情報ひろば
- まちの話題・海浜まつり
- I LOVE 厚真人

2011年 8 月

H 23

NO. 708

7 月末現在の人口
4,862人(前月比 - 12)
男 2,384人/女 2,478人
世帯数 2,047(前月比-5)